

くらし・福祉の守り手

願い託せる 日本共産党



市議会議員
いぬい紳一郎



市議会議員
高野 とも



市議会議員
小田桐たかし



市議会議員
徳増きよ子

お風呂屋さんとも力を合わせ

みんなの力で「お風呂の日」残した

事業仕分けで廃止とされた「ふれあいお風呂の日」事業は形を変えて残すことができました。お風呂の日が廃止になると聞いた方の「何とか残してほしい」という切実な訴えに署名が始まりました。お風呂屋さんの

「電気ぶろで腰痛が良くなりました」。また、お風呂屋さんの

企業のリストラや雇用破壊、年金・医療・介護など社会保障改悪で市民生活は危機的状況です。いま、自治体の一番の役割は市民の暮らし・営業を守ることに。日本共産党は「暮らしを守る2つの提案」をかげ、みなさんともがんばります。

暮らしを守る

提案1

「値上げは必要なかった」

高すぎる国保料は引き下げを！

「国保料を引き下げて」切実な声がたくさん寄せられています。職を失った人、売り上げが落ち込んでいる自営業者、給付額が少なくなっている年金生活者等々、不況の影響をもっとも受けている人たちが加入しているからです。

日本共産党は、国や市の財政支援を増やして、一人当たり1万円以上、保険料を引き下げること

んの経営者は「湯船に沈んだ高齢者の心臓マッサージをして蘇生させた。家庭風呂では助

からなかったのではない

か「風呂の日がなくなる」と町の銭湯はやっていけない」などと訴え、副市長は「市長と相談する」と回答しました。その後、3月議会でもみなさんの願いを届け、「シルバーコミュニティ銭湯」として継続さ

せることができました。

粘り強い運動で実現！

- 生活保護世帯の水道基本料金の免除。
- 公契約条例の検討開始
- 8月から小学3年生まで通院医療費助成
- 障害児の保育料の引き下げ
- 介護保険の住宅改造費が受領者委任払い制度

暮らしを守る

提案2

保育でも特養でも待機者ゼロへ

流山市でも保育園不足は深刻です。国がすすめる定員規制の緩和では過密状態となり、安心して子どもを預けることはできません。「子ども手当もいけれど保育園の整備を」の声が急速に広がっ

ています。保育園の新設で待機児ゼロを実現し、子育てするなら流山といえるまちにしましょう。

流山市の人口当たりの特別養護老人ホームは全国最低水準です。入所待ちの高齢者は500人を

に。最初から一割負担で利用できることに

- 市内商工業者実態調査
- 教員の労働実態調査
- 消防団員の手当引き上げ



超えました。寝たきりなど介護度の高い高齢者の家族介護は深刻です。親の介護のために仕事を辞めざるを得ない事態です。ようやく来年3月に百床の特別養護老人ホームがオープンしますが、施設はまだまだ足りません。特別養護老人ホームの建設をすすめて、待機者ゼロをめざします。

巨大開発偏重から暮らし・福祉重点に

暮らしをまもるために、TX沿線巨大開発を見直し、財政の主役に暮らし・福祉を据えることが必要です。

巨大開発がスタートして11年、いま深刻な矛盾に直面しています。20年間に50ヘクタールもの森林が失われまし

身近な要求実現

旧日光屋前の踏切拡幅の予算つく



三輪野山水害対策、和田堀に水位監視装置設置へ



西初石3丁目市道の舗装整備費が予算化



国道6号線名都借交差点待避所整備実現

